

21. 1. 30

佐倉市

教育センターだより Vol.17

平成21年1月30日発行／佐倉市教育センター／TEL. 043 (486) 2400 <http://www.city.sakura.lg.jp/kyoikucenter/index.htm>

変革(change)の時は、同時に好機(chance)であり、 挑戦(challenge)の時と捉えよう

所長 杉 本 勉

昨年12月12日の漢字の日に、(財)日本漢字能力検定協会が「今年の漢字」として、その年の世相を反映したもっとも応募数の多い字として発表した字が『変』という字でした。年末の10大ニュースなどをみても、政治や経済状況、世界情勢の激変や地球温暖化の深刻化などが挙げられていました。まさに、オバマ新アメリカ大統領のchange(変革)に象徴される昨今の状況であった(ある)といえます。

目を転じて教育界をみても、第3の教育改革のもと昨年新学習指導要領が示され、新たな教育の方向性のもと小学校では次年度から移行期に入ります。40年以上ぶりに授業数を増やすことや小学校でも外国語活動が新設されるなど、大きく変わろうとしています。

『不易と流行』とよく言われますが、教育においても変えてはならないこと(変えるべきではないこと)と、変えなければならないこと(変えるべきこと)があると思います。新たな動向の中で、不易と流行をしっかり見極め、教職員が丸一となって新たなことに勇気を持って挑戦(challenge)していくこと、そしてこの期を今までの旧態依然としてきたことを大きく変革する好機(chance)と捉えて、自校にあった独自の教育プランづくりを校長先生の指導の下、教職員の総意で構築していくことこそが、変革(change)に対応していくことであると思います。

移行期における教育課程の見直しはすでに完成を見ているところであると思いますが、小学校であれば平成23年度(中学校では24年度)の完全実施に向けて、目先の手直しや修正だけではなく、自校がどのような教育活動を展開していくのか(展開していくことが望まれているのか)を繰り返し議論し合い、特色ある学校づくりを推進する機会(chance)としたいものです。

佐倉市教育センターでは、昨年9月末に学力調査の分析や改善・充実のための手だてを示しました。また教育センターでこれまでに実施・公表してきた調査結果や以下に示すような本年度事業の中で得られた調査結果(今後随時公表予定)も各学校のプランづくりの参考にしていただければ幸いです。

《平成20年度の主な事業》

教職員の意識調査

対象：市内小、中学校教職員

目的：学校職員の意識や実態を調査し、今後の佐倉市教育の充実、発展に向けた資料を得るとともに、学校職員自身が自己を見つめる機会とするため。

市民の教育に対する意識調査 【1年次/2年】

目的：次期佐倉市教育ビジョンの策定にあたり、佐倉の教育に対する率直な市民の考えや思い、意見を広く取り入れ、市民とともに佐倉のあるべき教育の姿を明らかにするとともに、本調査結果を基にビジョン策定の基礎資料とするために、調査を行う。

佐倉学道徳副読本の作成【2年次/4年】

内容：郷土佐倉への愛着を育み、社会に貢献できる人材を育てるため。佐倉の先覚者の生き方や偉業を学ぶことを通して、学ぶことの大切さと新しいものに積極的に挑戦しようとする「好学進取」の気風を育てるため。先覚者を題材にした道徳の副読本を作成する。

教育相談基礎講座の実施

対象：教職員

目的：教育相談の理論と技法を実践的に学ぶことを通して、カウンセリングの基礎を身につけ、児童生徒の持つさまざまな問題の解決に向けて指導力の向上を図る。

佐倉市学習状況調査

内容：小、中学生の学習意欲及び学習・生活習慣に関すること、並びに国語、算数・数学、英語(中のみ)の基礎学力の状況の分析を行う。

全国学力・学習状況調査の結果分析

全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図り、併せて児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上を図るための基礎となる分析を行う。

最後になりましたが、この一年間教育センター事業にご理解とご協力をいただきました多くの方々に感謝申し上げますとともに、今後も佐倉市教育の向上・発展のために、努力していく所存です。

言語活動を重視した授業づくりをめざして

「平成20年度 全国学力・学習状況調査」より

平成20年4月22日に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。今回は、B問題（主として「活用」に関する問題）の結果から、特徴のあるデータの一部を紹介し、今後の学習指導のあり方について述べたいと思います。

小学校国語B

佐倉市の正答率
32.8%

【出題の趣旨】

目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを明確に書くことができるか。

【話し合いの記録の一部】

三つの条件全てを満たすことが難しい。

木村さん
「国語」をテーマとして話し合います。「図書館だより」の中のグラフから分かったこと、それをもとにして考えたことを発表してください。

司会
家や図書館で一日に一時間以上読書をする六年生は、約十八%もいることが分かりました。わたしは、それほど読書をしていないので、時間を計画的に使って、もっと本を読もうと考えました。

あなたの発表
ウ

【学習指導のポイント】

- 授業の中で複数の資料を取り上げ、その中から必要な情報を探る活動を取り入れる。
- 複数の条件を設定して、自分の考えを書く活動を取り入れる。
- 条件に合わせて、必要な情報を取捨選択し、情報を書き換える活動を設定する。



3 図書館委員の木村さんたちは、学校のみんなが自分たちの町の図書館をもっと利用するように、なりたいと考えています。次は、木村さんたちの町にある梅山市立図書館が市内の小学生に配布した「図書館だより」です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

小中学校とともに、発達段階に応じて情報の取捨選択、複数の条件に合わせた表現活動を重視した指導をくり返し行っていくことが必要です。

中学校国語B

【出題の趣旨】

複数の資料を読み、資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が、明確に伝わるように書くことができるか。

佐倉市の正答率
28.0%

三つの条件全てを満たすことが難しい。

【B】

2007年4月20日
花を咲かせるホルモンを発見
奈良先端科学技術大学院大学グループ

思いどおりの時期に植物の花を咲かせるホルモン「フロリゲン」が発見された。このホルモンは約70年前にその存在が提唱されたが、多くの研究者の努力にもかかわらず取り出すことができなかった。

去る4月16日、日本の奈良先端科学技術大学院大学は、「フロリゲンを世界に先駆け発見した」と発表した。奈良先端科学技術大学院大学のグループは、花に関係する遺伝子が作るタンパク質に着目。葉で作られたこのタンパク質が、茎の先端に集まって開花を引き起こしていることを突き止め、「フロリゲン」と断定した。イネを使った実験では、通常約50日から60日を要する開花を15日から20日で実現。また、イネの遺伝子を用いてキウの開花時期を早めることにも成功した。

【学習指導のポイント】

- 授業の中で関連する複数の情報を比較し、共通点と相違点をまとめるなど、情報を整理する活動を取り入れる。
- 情報を自分の表現に活用する学習の際に、視点を明確に指導する。

1 植物が開花する仕組みについて調べていた中学生の長井さんは、図書館で次のような文章（A）を見つけた。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

（A）

一九三六年、ソ連のチャイリヤヒン氏は、「葉っぱ」が「芽」に送る物質を、フロリゲン（花成ホルモン）と名づけた。そして、「一定の長さの暗黒を感じた。葉っぱ」がフロリゲンを送り、それが「芽」に送られる、つぼみができる、と考えた。フロリゲンが葉っぱからつぼみに送られると、つぼみができ、やがて花が咲く。この物質がつくれなければ、いつまでもつぼみはできない。だったら、もし私たちがフロリゲンを手に入れることができれば、好きな時期にそれを植物に与え、自由自在に花を咲かせることができる。花の栽培はもうこんなこと、作物栽培でも、収穫までの栽培期間を思うように調節できる。効率的に作物をつくれるようになり、農業は、はかり知れない恩恵を受けるだろう。

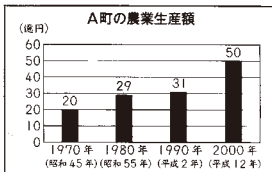
そこで、チャイリヤヒンがフロリゲンの存在を示唆して以来、現在まで六十年以上にわたり、世界各国の多くの研究者が、植物からフロリゲンを取り出す努力を続けてきた。「フロリゲンを手に入れ、思いのままに花を咲かせる」というロマンを夢見て、この物質を見つけない限りは、フロリゲンは見つからない。フロリゲンらしきものが見つかったと報告はいくつあるが、いずれの場合も一貫した再現性が見られない。そのため、この物質の構造、性質は不明であり、実在するかどうかも定かでないまま、「幻のフロリゲン」と呼ばれている。

小学校算数B

2

ひろしが住んでいるA町の農業生産額について、下の2種類の資料を使って調べます。

棒グラフは、農業生産額を1970年から10年ごとに表しています。



円グラフは、1970年と2000年の農業生産額の種類の割合を表しています。



【学習指導のポイント】

- 生活の中で用いられ、他の教科で扱われたりするさまざまな数を単位とするグラフを、授業の中で意識的に扱い、単位に着目してグラフの学習を積極的に取り入れる。
- 比較量の大小は、割合だけでなく基準量と割合の2つによってきまることを理解できるよう、ていねいに指導する。

【出題の趣旨】

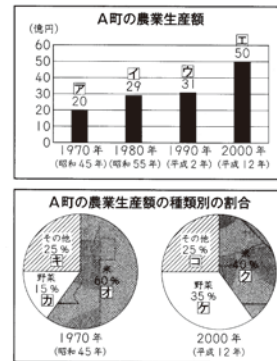
示された棒グラフや円グラフを基に、他者の考えが正しいかどうかを割合の考えを用いて評価し、その理由を数学的に表現することができるか。

農業生産額の種類の割合のグラフだけを見て、誤った判断をしまっている。

佐倉市の正答率
18.7%

(2) 下のように、棒グラフと円グラフに表された生産額や割合に、アからコまでの記号を付けました。

A町の2000年の野菜の生産額を求めるためには、資料の中のアからコまでのうち、どれが必要ですか。アからコまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。



(3) 次は、米について考えます。

A町の1970年と2000年の米の生産額について、ひろしさんは、次のように言いました。

米の割合が、60%から40%に減っているから、米の生産額は、減っています。



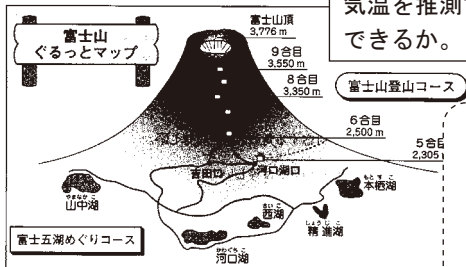
ひろし

ひろしさんの言っていることは、正しいですか。「正しい」か「正しくない」かのどちらかを○で囲みましょう。また、そのわけを、言葉や式を使って書きましょう。

小中学校とともに、計算や与えられた方法で問題を解くだけでなく、自分の言葉で説明するなどの指導をくり返し行っていくことが必要です。

中学校数学B

5 里奈さんたちは、下のパンフレットを見ながら、「めぐり」と「富士山6合目登山」の計画を立ててい



【出題の趣旨】

与えられた表やグラフを用いて、データでは与えられていない標高に対する気温を推測する方法を説明することができるか。

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を筋道立てて説明することが不十分である。また、無解答率も高い。

- ア y は x に比例している。
- イ y は x に反比例している。
- ウ y は x の一次関数である。
- エ x と y の和は一定である。
- オ x と y の差は一定である。

佐倉市の正答率
11.9%

次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

(1) 富士五湖めぐりで、5つの湖のうち2つの湖で写真を撮る。2つの湖の選び方は全部で何通りあるかを求めなさい。ただし、順番は考えないものとする。

(2) 里奈さんと憲一さんは、富士山の6合目の気温について

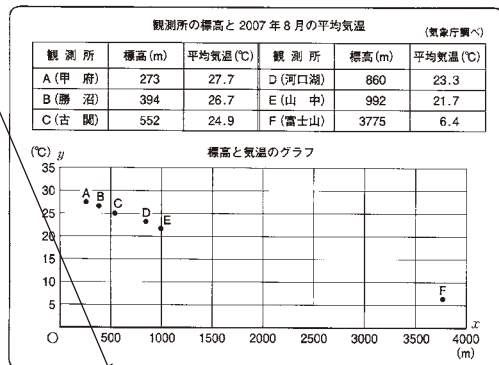
里奈さん「6合目の気温を調べようとしたけれど、6合目がないから、気温が分からないよ。」
憲一さん「気温は、地上から1万mぐらいまでは、高さが増えるにつれて、ほぼ一定の割合で下がることが知られている。このことを利用すれば、6合目の気温は分かるよ。」

下線部から、「地上から1万mぐらいまでは、高さが増えるにつれて、気温が一定の割合で下がる」と考えるとき、高さ x (m) と気温 y (°C) の間には、いつでもいえる関係がある。アからオの中から正しいものを1つ選びなさい。

【学習指導のポイント】

- 与えられた方法を用いるだけでなく、生徒がさまざまな解決方法を見だし、数学的に説明する場面を授業の中に積極的に取り入れる。
- 授業で実際のデータを用い、数学の知識技能や見方考え方を活用して問題を解決する活動を取り入れる。

(3) 里奈さんは、富士山周辺と山頂の8月の平均気温を調べました。そして、下の表のようにまとめ、高さ(標高) x (m) のときの気温を y (°C) として、グラフに表しました。



里奈さんは、「高さが高くなるのにもよって、気温が一定の割合で下がる」ということをもとに、表やグラフのDとFのデータを用いて、6合目のおよその気温を求めることにしました。

このとき、6合目(2500m)のおよその気温を求める方法を説明しなさい。ただし、実際に気温を求める必要はありません。

新学習指導要領では、「思考力・判断力・表現力等の育成」や「言語活動の充実」が従前以上に重視されています。一方、児童生徒質問紙の調査結果では、国語の授業で「自分の考えを話したり、書いたり、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している」児童生徒の割合が低く、算数・数学の授業で「学習したことが日常生活の中で活用できないか考えている」児童生徒の割合が低いことがわかりました。国語を中心に全ての教科・領域等の指導において、表現力の育成を目指した言語活動を重視した授業づくりを進めていくことが望まれます。

(西村 隆徳)

“さくら”学びの窓

学ぶ喜びと楽しさを知り、自ら進んで活動する児童の育成
～郷土の魅力に触れる「佐倉学」を通して～
佐倉市立西志津小学校

西志津小学校では、自ら進んで活動する児童の育成をめざして、佐倉の歴史、先覚者、文化、自然などに触れる活動を指導過程に位置づけ、効果的に授業に取り入れています。



「佐倉市郷土の先覚者」シリーズをもとに紙芝居を作成し、読書活動、社会科や道徳の補助教材として幅広く活用できるようにしました。クラス全員で同じ資料を見ることができ、低学年でも先覚者に親しみやすくなりました。



友達と学び合ったり地域の人々と触れあったりする場を設定し、積極的に人と関わり合いながら活動することのできる授業をしています。



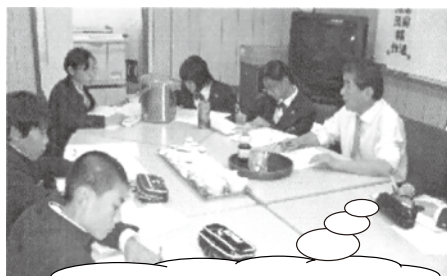
西志津小中連携と佐倉学
『ふるさと佐倉で学ぶ』

郷土の先覚者に関する指導を系統的に進化、発展させていくために、小中9か年の学習カリキュラム「佐倉市郷土の先覚者に関する指導計画」を作成しています。

学年	先覚者名	教科等	学習の内容およびめあて	資料等
小6	堀田正徳	社会	・堀田正徳が、幕末期に老中として西洋の学問を受容したり、勤王の日本を開国に導いたことを理解することができる。 ・土井利勝が二代将軍孝忠のもとで老中となり佐倉に城を築いたこと、三代将軍家光を助けて参勤交代や幕府法度などの規則を定め、幕府の基礎を固めたことを理解することができる。 ・正徳の生き方や「好学進取」の気風および利勝の功績に触れ、ふるさと佐倉に対する誇りや魅力を感じることができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「土井利勝」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
	堀田正徳	総合	・旧堀田邸、順天堂記念館、城址公園、市立美術館などの見学を通して、佐倉の発展に尽くした先覚者やその功績について理解することができる。 ・佐倉の発展に尽くした先覚者の生き方に触れ、ふるさと佐倉に対する誇りや魅力を感じることができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
	堀田正徳	総合	・佐倉の発展に尽くした先覚者の生き方に触れ、ふるさと佐倉に対する誇りや魅力を感じることができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
	佐藤泰然	総合	・佐倉の発展に尽くした先覚者の生き方に触れ、ふるさと佐倉に対する誇りや魅力を感じることができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
	浅井 忠	総合	・佐倉の発展に尽くした先覚者の生き方に触れ、ふるさと佐倉に対する誇りや魅力を感じることができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
	堀田正徳	社会	・堀田正徳が、佐倉藩最後の藩主として、少年期よりその重責を担い、新しい時代の佐倉地方の産業や教育の発展に尽くした人物であることを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
中1	佐藤志津	総合	・佐藤志津が、近代日本における女子教育の先駆者として、女子教育に尽力したことを理解することができる。 ・倉次 亨が、佐倉藩の重臣として活躍し、旧藩土の振興のために、佐倉の特産品「佐倉茶」を始めたことを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
	倉次 亨	総合	・佐藤志津が、近代日本における女子教育の先駆者として、女子教育に尽力したことを理解することができる。 ・倉次 亨が、佐倉藩の重臣として活躍し、旧藩土の振興のために、佐倉の特産品「佐倉茶」を始めたことを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
中2	堀田正徳	社会	・幕末の老中として、勤王の日本を開国に導いた堀田正徳を、当時の国際情勢をふまえて理解することができる。 ・林 重が、当時の外交問題を的確に処理し、日英同盟調印を実現し、日露戦争の勝利に貢献したことを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
	林 重	総合	・堀田正徳が、幕末の老中として、勤王の日本を開国に導いたことを理解することができる。 ・林 重が、当時の外交問題を的確に処理し、日英同盟調印を実現し、日露戦争の勝利に貢献したことを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
中3	西村勝三	総合	・西村勝三が、日本で初めて製菓業を取り組み、近代産業の発展に貢献したことを理解することができる。 ・西村茂樹が、日本の道徳教育を広げるため、「日本弘道会」を設立したことを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
	西村茂樹	総合	・西村勝三が、日本で初めて製菓業を取り組み、近代産業の発展に貢献したことを理解することができる。 ・西村茂樹が、日本の道徳教育を広げるため、「日本弘道会」を設立したことを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
中3	堀田正徳	総合	・堀田正徳が、幕末期に老中として、勤王の日本を開国に導いたことを理解することができる。 ・堀田正徳が、幕末期に老中として、勤王の日本を開国に導いたことを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
	浅井 忠	総合	・堀田正徳が、幕末期に老中として、勤王の日本を開国に導いたことを理解することができる。 ・堀田正徳が、幕末期に老中として、勤王の日本を開国に導いたことを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
中3	香取秀真	総合	・堀田正徳が、幕末期に老中として、勤王の日本を開国に導いたことを理解することができる。 ・堀田正徳が、幕末期に老中として、勤王の日本を開国に導いたことを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」
	津田信夫	総合	・堀田正徳が、幕末期に老中として、勤王の日本を開国に導いたことを理解することができる。 ・堀田正徳が、幕末期に老中として、勤王の日本を開国に導いたことを理解することができる。	佐倉市郷土の先覚者シリーズ「堀田正徳」「堀田正徳」佐倉市郷土の先覚者「ふるさと佐倉の歴史」

「佐倉学」を通して、自ら鍛える力を育む指導のあり方
～佐倉の先覚者や郷土を知る学習を通して～
佐倉市立西志津中学校

西志津中学校では、「佐倉の先覚者の生き方に触れることによって、自主自立の精神が育ち、生涯にわたって学習し続ける気風を持った生徒を育成することができる」と考え研究に取り組んでいます。また「佐倉学」を通して郷土の魅力を感じさせることにより、郷土を愛する心を育てようとしています。



佐倉の伝統産業聞き取り調査



1年生では「佐藤志津」「倉次亨」について班ごとに小テーマを選び、調べて発表し合いました。



「地場産業及び伝統工芸に関する体験学習プログラム」も小中連携して作成しています。

学年	施設・事業所	体験活動の内容
小6（佐倉市探検）	ヤマニみそ	・みそ作りの工程を見学する。 ・佐倉におけるみそ作りの歴史について話を聞く。
	佐倉せんべい	・せんべい作りの工程を見学する。 ・創業以来のせんべい作りの歴史などについて話を聞く。
	小川園ういんける佐倉	・茶煙やお茶作りの工程を見学する。 ・倉次亨や佐倉における茶作りの歴史について話を聞く。 ・佐倉市の土産品や名産品について話を聞く。
	鳥山弓具点	・弓矢作りの工程を見学する。 ・創業以来の弓矢作りの歴史などについて話を聞く。
	木村屋	・蔵六餅などの和菓子作りの工程を見学する。 ・創業以来の和菓子作りの歴史などについて話を聞く。
	下総組紐	・組紐作りの工程を見学する。 ・組紐の歴史や種類などについて話を聞く。
中2（職場体験）	手作り工房さくら	・機織りの実演を見学したり、体験したりする。 ・竹細工や彫刻、金工等の工芸品作りの実演を見学する。
	夢工場	・佐倉の米粉を使ったパン作りの工程を見学する。 ・パン作りへの思いや作り方について話を聞く。
	下総組紐	・学校に講師として招聘し、組紐の歴史や種類などについて話を聞き、レポートを作成する。
	小川園（佐倉茶）	・学校に講師として招聘し、倉次亨や佐倉における茶作りの歴史について話を聞き、レポートを作成する。 ・お茶作りの工程の一部を体験する。 ・佐倉市の土産品や名産品について話を聞き、店頭に出接客体験を行う。
	木村屋	・蔵六餅などの和菓子作りの方法についての説明を聞き、箱作りや袋詰め、箱詰め等の体験を行う。 ・創業以来の和菓子作りの歴史などについて話を聞く。 ・実際に店頭に出接客体験を行う。
	三谷屋呉服店	・伝統的な和服についての説明を聞き、着付けの仕方を習う。 ・腰紐作りの体験をする。 ・和服の管理方法や店の清掃等を行い、接客体験を行う。
中2（職場体験）	佐倉煎餅	・せんべい作りの製作工程の説明を聞き、工程に従ってせんべい作りを体験する。 ・創業以来のせんべい作りの歴史などについて話を聞く。 ・接客体験を行う。
	鳥山弓具点	・弓矢作りの工程の説明を受け、工程ごとに生徒が分担して、製作体験をおこなう。 ・創業以来の弓矢作りの歴史などについて話を聞く。

自ら学び実践する児童「佐倉人氣質の育成」 ～「佐倉学」を通して生きる力を培う～

佐倉市立根郷小学校

「佐倉学で総合単元的道德学習を展開することにより、自ら学び実践する佐倉人氣質が育ち、よりよく生きることを主体的に考え実践するだろう」という仮説のもと、総合単元的道德学習を構想し授業実践を重ねています。学年ごとの総合単元的道德学習指導計画表、佐倉の先人等を教材化した道德副読資料集を作成し、教員が自ら佐倉学への研修を深めながら多様な資料を準備し活用しています。

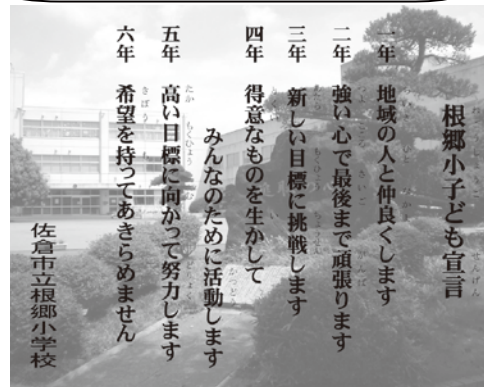


2年生の道德授業では、「津田梅子」の生き方を通して、最後までやりぬこうとする気持ちを養うことを目標に、紙芝居やDVDを活用した授業を行いました。



6年生では、1～2学期に「西村茂樹」「浅井忠」の生き方を学んだ後、自分自身の生き方を見つめ、将来の職業観を養うことを目標に、ゲストティーチャーの話を聞いて質問する授業を行いました。

また、家庭や地域とのかかわりを重視し、児童の話し合いで策定した「根郷子ども宣言」を家庭や地域へ発信したり、「研究部だより」を発行して啓発したり、道德授業参観を行ったりしています。さらに、自ら学び実践しようとする態度を育てるために基礎学力・学習習慣の定着に取り組んでいます。



道德の授業の充実と指導の工夫を通して、生きる力を育む道德的实践力を高める ～人権教育との連動性を深めて～

佐倉市立佐倉東中学校

人権教育に力を入れている東中では、自校の特徴を踏まえて、人権に深くかかわる項目を積極的に授業に取り入れることによって生徒の人権意識を高めようとしています。重点価値項目を勘案した年間指導計画を作成し、資料選択と指導方法の工夫をして生徒の心をゆさぶり、価値の内面化をめざしています。



役割演技を取り入れるなど、生徒の素直な気持ちが出せるような授業展開を考えています。

行事	行事のねらい	道德授業
5 校外学習 (1学年)	① 生徒の自主的な活動を高めると共に、集団生活における自己の責任と立場を自覚し、自律的・協力的に行動する心構えを養う。 ② 学級の仲間、班の仲間とそれぞれが学校を離れた場でも時間を共有し、良い思い出づくりをしていく。 ③ 他地域の人の文化遺産に触れあうことで、班の喜びや素直らしさを味わう。	4- (1) 集団生活の向上「オリエンテーリング」 4- (9) 日本人としての自覚「修学旅行」
6 修学旅行 (3学年)	① 生徒の自主的な活動を高めると共に、集団生活における自己の責任と立場を自覚し、自律的・協力的に行動する心構えを養う。 ② 重宝を担いだり悩みを相談する仲間、学級の仲間、班の仲間と、それぞれが学校を離れた場所でも時間を共有し良い思い出づくりをしていく。 ③ 関西地方の人々の文化遺産に触れ合うことで、班の喜びや歴史の素直らしさを味わう。 ④ 阪神・淡路大震災から「いのちの大切さ」「共に生きることの素直らしさ」「お互いが助け合い、力を合わせることの大切さ」について考える機会とする。	3- (2) 生命の尊重「金木犀と共に」 4- (9) 日本人としての自覚「修学旅行」
自然教室 (2学年)	① 班や学級および学年の活動、保護活動を通して責任感・協力を培うとともに、主体的に行動する力やリーダーシップを身につける。	2年 2- (2) 思いやり「最後のジャンプ」 2年 2- (3) 真の友情「はだかの王様」

道德の授業と関連させながら、具体的な形で様々な実践の場を設定し、生徒が自主的に活動することで、道德的实践力を高めることをめざしています。

プルタブを集めて車いすと交換し福祉施設に寄贈する活動は約7年に及ぶ福祉委員会の取り組みです



道德授業と行事等との関連を考慮した年間計画も作成しています。



3年生では、「社会貢献」をテーマにグループごとに地域の現状や課題を考え、行動化しています。

自他のよさに気づき、主体的に活動する子どもの育成 ～キャリア教育の視点から～

佐倉市立志津小学校

志津小学校では、主体的に活動する児童の育成をめざして、キャリア教育の視点から、指導の工夫・改善に努め、一人一人が生き生きと活躍できる場を工夫しています。



『ゆめ・仕事びったり体験』報告会や5年生への発表に向けて、聞き手によりよく伝えられるよう、グループ内でお互いに意見交換をしました。



キャリア教育の視点から、ゲストティーチャーとの交流を通して『人間関係形成能力』を培う授業を展開しています。

夢や希望を育む学習プログラム

佐倉市立志津小学校

キャリア発達に関わる諸能力			低学年	中学年	高学年	本校における 主な活動場面
重点目標 ①自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ③夢や希望の自己イメージの確立			②身の回りの仕事への関心・意欲の向上 ④勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成			
領 域		能 力 説 明	キャリア発達を促すために育成される具体的な能力・態度			
（なにかよくしう） 人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り協力・協働してものごとに取り組む。	【自己の理解能力】 自己理解を深め他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切に行動していく能力。	・友達と仲良く遊び助け合うことができる。 ・まわりの人や地域の人に感謝する。 ・身近な人にあいさつや返事をする。 ・人の話を聞き自分の考えをみんなの前で話す。	・自分や友達のよさがわかる。 ・自分の生活を支えている人に感謝する。 ・自ら進んであいさつしようとする。 ・人の話を聞き自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する。 ・友達の気持ちや考えを理解しようとする。	・自分や友達のよさが分かり、互いに認め合うことができる。 ・誰に対しても気持ちのよいあいさつや返事をする。 ・積極的に話し合いに参加し、相手の立場を考えた意見交換ができる。	たてわり活動 クラブ活動 委員会活動 係・当番活動 集団登下校 運動会 国際理解教育 ゆめ・仕事びったり体験 ピア・サポート
		【情報収集・探索機能】 地域の人々の所へ出ていき、その人の仕事や生き方について取材をすると共に情報を活用して自己の進路や生き方を考えていく能力。 【職業理解能力】 様々な見学や体験を通して働くことの意義を考えていく能力。	・働く人々の様子が分かり、興味・関心をもつ。 ・係や当番活動の内容について調べる。	・色々な職業があることがわかる。 ・わからないことを、図鑑などで調べたり質問したりする。 ・係や当番活動に積極的に関わる。	・自分に必要な情報を集めることができる。 ・働くことの大切さや素晴らしさがわかる。	校外学習 佐倉学※1 総合的な学習 パソコン学習 ゆめ・仕事びったり体験
		【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力。 【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動で実行していく能力。	・家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性がわかる。 ・作業の準備や片付けの大切さがわかる。	・互いの役割やその必要性がわかる。 ・将来の夢や希望をもつ。	・世の中には色々な職業があり、みんなの生活を支えていることに気づく。 ・将来について希望をもち、そのために今しなくてはならないことを考えることができる。	佐倉学 道徳 運動会 音楽壮行会 陸上壮行会 草ぶえの丘体験学習 志津っ子フェスティバル ゆめ・仕事びったり体験
		【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力。 【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応すると共に、希望する進路の実現に向け、自らの課題を設定してその解決に取り組む能力。	・自分の好きなもの、大切なものをもつ。 ・してよい事と、してはいけない事があることがわかる。 ・目あてをもって自分のことや手伝いを行おうとする。	・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考えて進んで取り組む。 ・自分の仕事に対して責任をもち、最後までやり通そうとする。 ・自分の力で、課題を解決しようと努力する。	・よりよい実践のための話し合いや活動ができる。 ・自分の仕事に対して責任をもち、見つけた課題を自分の力で解決する。 ・よりよい生活や学習、生き方などを目標として、自ら課題を見出していくことの大切さを知る。	志津っ子フェスティバル 運動会 緑の羽根・赤い羽根 募金活動 修学旅行 入学式・卒業式 各儀式的行事 ピア・サポート

編集後記

今回は、2学期に公開研究会を行った市内の小中学校の研究の一端を『“さくら”学びの窓』として紹介させていただきました。紙面が限られていて十分な紹介ができないのが残念ですが、センターだよりをきっかけに、参考にしたいところについて情報を交換し合うことができるとよいと思います。今回紹介させていただいた学校の研究紀要や指導案等は教育センターの資料室にも保管してあります。

2月17日（火）13：30～16：30 佐倉市立美術館で『佐倉市教育センター等報告会』を実施いたします。どうぞご聴講ください。

教職員や市民の方々に有用な情報を発信できるよう努めていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

（松橋 明子）